

◇臨床指標（クリニカル・インディケーター）

・「*」のある項目については、表下部に用語説明をしています

NO	指標	H30 年度実績	単位	計算式等	説明
○入院・退院					
1	地域別患者数 (入院)	「地域別患者数」(PDF)のとおり		県内市町村ごとと、県外に、退院患者を分類	どの地域からの来院患者さんが多いか、現状を示しています。
2	延べ入院患者数	150,534	人	期間内の入院患者数の合計 (入院患者数=当日末在院患者数+退院患者数)	期間内にどれだけの患者さんが入院されたかを示しています。
3	新規入院患者数	12,065	人	再入院も含めて計上	新規に入院された患者さんの数を示しています。 (期間内の再入院も含みます)
4	1日平均入院患者数	412	人	延べ入院患者数/期間日数	1日平均何人の患者さんが入院されているかを示しています。
5	手術件数	7367	件	期間内にKコード*で割り振られた件数	入院手術を受けられた患者さんのうち、Kコードで割り振られた件数を示しています。
6		2948	件	全身麻酔件数	入院手術を受けられた患者さんのうち、全身麻酔を行った件数を示しています。
7	病床稼働率	93	%	延入院患者数/(運用病床×日数)	運用病床の平均稼働率を示しています。
8	平均在院日数	11.8	日	延在院患者数/{(新入院患者数+退院患者数)÷2}	1人の患者さんが平均何日入院されているかを示しています。 急性期に比べ回復期は在院日数が長くなる傾向にあります。
9	他施設への転院率	10.9	%	介護保険施設+他の医療機関/ 退院患者のうち、死亡退院患者を除いた患者数	患者さんがどんな場所に退院されているかを示しています。
10	居宅復帰率	89	%	自宅または自宅以外の居宅/ 退院患者のうち、死亡退院患者を除いた患者数	
○外来					
11	地域別患者数 (外来)	「地域別患者数」(PDF)のとおり		県内市町村ごとと、県外に分類 (延べ患者数、同日の他科診療も含めています)	どの地域からの来院患者さんが多いか、現状を示しています。
12	延べ外来患者数	250,188	人	期間内の外来患者数の合計	期間内にどれだけの患者さんが外来されたかを示しています。
13	新規外来患者数	28,050	人	初診料を算定した患者数	初めて外来に来られた患者さんの数を示しています。
14	1日平均外来患者数	1030	人	延べ外来患者数/期間日数	1日平均何人の患者さんが外来受診されているかを示しています。
15	手術件数	3101	件	期間内にKコード*で割り振られた件数	外来手術を行った患者さんのうち、Kコードで割り振られた件数を示しています。
○治療・看護					
16	救急車搬送受入件数	5598	件	来院された患者のうち、救急車で来院した患者数	救急車で来院された患者さんの数を示しています。
17	救急車搬送後の 入院患者数	2701	人	救急車で来院された患者のうち入院した患者数	救急車で運ばれた後、入院された患者さんの数を示しています。
18	時間外救急患者数	7761	人	(土日祝・年末年始(12/29~1/3)+ 平日 17時15分~翌日8時30分の患者数)-予約患者数	時間外にどのくらいの救急患者さんが来院されたかを示しています。
19	母体・産褥搬送受入数	156	人	母体・産褥の患者が救急車等で来院した件数	周産期医療への貢献度を示す指標です
20	地域連携パス発行件数	20	件	パス発行件数	地域の医療機関と連携・協力して患者さんの治療を実施した実績を示しています。
21	がん地域連携クリニカルパス発行件数	3	件	パス発行件数	
22	リハビリテーション 実施単位数	① 13,064 ② 22,799 ③ 11,586	件	①心大血管リハビリテーション実施単位数 ②脳血管疾患等リハビリテーション実施単位数 ③運動器リハビリテーション実施単位数	各疾病に基づいて行われたリハビリテーションの実施単位数を示しています。 急性期では、運動機能の低下を防止するためのリハビリが、回復期では日常生活の動作改善を中心としたリハビリが集中的に行われています。

NO	指標	H30 年度実績	単位	計算式等	説明
23	褥瘡*発生率	0.38	%	新規褥瘡発生患者数(d2以上) / (調査年の新入院患者数+前年末在院患者数) (d2…損傷の深さを表すレベルのうち、「真皮までの損傷」を示しています)	院内で褥瘡が発生した患者さんの割合を示しています。各センターでは褥瘡予防チームを作って、発生予防に努めています。
24	医療関連機器圧迫創傷発生率	0.40	%	医療関連機器圧迫創傷発生患者数 / (調査年の新入院患者数+前年末在院患者数)	酸素マスクや弾性ストッキングなどの医療機器を使用する際に生じる圧迫創傷で、機械の技術進歩だけでなく、機器を扱う医療者の知識と技術が発生予防につながります
25	栄養サポートチーム*(NST)介入件数	506	件	NST介入件数	チーム医療として患者さんに栄養支援が行われた件数を示しています。
26	栄養食事指導件数	2522	件	栄養食事指導件数	栄養指導等により、患者さんに安全な食事療法支援が行われた件数を示しています。
27	薬剤管理指導件数	17,836	件	薬剤管理指導件数	薬歴管理や服薬指導により、患者さんに薬物療法支援が行われた件数を示しています。お薬の理解を深めていただくとともに、それらの情報を医師にフィードバックすることで患者さんの薬物療法を支援しています。
○感染					
28	院内 MRSA*発症率	0.242	%	MRSA 感染症患者数 / (調査年の新入院患者数+前年末在院患者数)	病院内で MRSA に感染した患者さんの割合を示しています。
○医療安全					
29	インシデント件数	2203	件	医療安全推進室に報告のあった件数	エラーはあったが、患者さんに損害が発生しなかった事例件数を示しています。インシデント報告は多いほどその病院の安全文化が高いと評価されます。
30	アクシデント件数	72	件	医療安全推進室に報告のあった件数	エラーにより、患者さんに何らかの損害が発生した事例件数を示しています。
31	転倒・転落発生率	2.411	%	入院中の転倒・転落件数 / 入院延患者数 × 1000	入院患者さんが院内で転倒・転落された割合を示しています。
32	転倒・転落による損傷発生率	0.611	%	転倒・転落件数のうちレベル2以上の件数 / 入院延患者数 × 1000 (レベルB…軽度(血圧の変動や打撲による腫れ等が生じ、経過観察や検査などを必要とする状態)を示しています)	転倒・転落された入院患者さんのうち、レベル2以上の損傷が発生した割合を示しています。
○地域連携					
33	退院支援実施数	2070	件	地域連携室の社会福祉士と看護師が介入した退院支援を行った件数	患者さんが退院される際、何らかの支援をさせていただいた件数で、入院患者さんの抱える様々な問題に対応できていることの指標になります。
34	院外職種との退院前カンファレンス	478	件	院外職種と開催した退院前カンファレンスを行った件数	退院後安心して、医療・介護サービス等が利用できるように、ケアマネージャーや訪問看護師、在宅医等院外のお職種スタッフの方々と連携し、チームを組んで退院後の生活を一緒に考えてカンファレンスを実施した件数を示しています。
35	紹介率	73.3	%	紹介患者数 / 初診患者数	初診のうち、他の医療機関からの紹介で受診された患者さんの割合を示しています。
36	逆紹介率	90	%	逆紹介患者数 / 初診患者数	センターから他の医療機関へ紹介した患者さんの割合を示しています。
○その他					
37	患者満足度(入院・外来)	92.1・79.8	%	患者満足度調査で「非常に満足」、「満足」の回答の割合	奈良県立病院機構では、入院・外来患者さんにアンケートを実施しています。その中で「全体としてこの病院に満足しているか」という問いにお答えいただいた割合を示しています。

* 用語説明 *

Kコード…診療報酬点数表の診療行為のうち、手術・処置の領域にふられたコードのこと

地域連携クリニカルパス…治療を受ける全ての医療機関で共有し、あらかじめ診療内容を患者さんに提示・説明することにより、安心して医療を受けていただくために作成された診療計画表のこと

褥瘡…床ずれ。寝たきりによって圧迫された部分が赤くなって、ただれたり、傷になってしまったものこと

栄養サポートチーム(NST)…医師や看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技師等の専門職が、それぞれの知識や技術を持ち寄って、栄養支援を行うチームのこと

MRSA…メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の略語。身の回りのどこにでもいて、健康な人には害はないが、身体の弱った人が感染すると、肺炎などを引き起こす細菌のこと